



まちの皆さんに感謝を込めて。
利府梨アイス「梨ふ愛す」販売中！

利府町生まれの新たなスイーツとして、令和7年3月にアイスパフェ「梨ふ愛す」（梨きなこ＆梨ベリー）、この7月に第2弾となる「梨ふ愛す」（梨ハニー）が誕生し、現在販売中。その開発において、プロジェクトの中心となって町の人達

十符人

「とふとー」

「十符人（とふとー）」では、毎月、利府の魅力づくりや魅力発信に貢献している方を取り上げていきます。



宮城県利府高等学校3年生
自然科学部

みうら だいき
三浦 大輝さん(左)

HIBIKU代表・梨農家
(元利府町地域おこし協力隊)

ささき ひびき
佐々木 響さん(右)

三浦 大輝：2008年利府町生まれ。2023年宮城県利府高等学校に入学し、自然科学部へ入部。同年6月に利府町地域おこし協力隊主催のワークショップに参加。以後2年以上にわたり「梨ふ愛す」の開発から販売活動まで積極的に取り組む。
佐々木 響：1999年秋田県生まれ。2016年大学入学を機に仙台に移住。2023～2026年3月まで利府町地域おこし協力隊として活躍し、『Good Movement』農業支援プロジェクト』メンバーとして「梨ふ愛す」の開発をサポート。現在はまちづくり等に関わる個人事業主兼梨農家として活動。



写真左から、内海陸翔さん(自然科学部部長)、三浦大輝さん、佐々木響さん



商品開発に向けたワークショップ

する過程では商品開発の流れやベルソナ分析^{※2}など、高校の授業だけでは学べない経験ができた」と三浦大輝さん。開発を支えてきた佐々木響さんは「パッケージデザインの原型も高校生が考えた。今年の7月に発売した「梨ふ愛す」（梨ハニー）では食べやすい容量に変更し、はちみつも利府産にこだわった」と話します。現在は販売活動に携わることで、とても楽しいという三浦さん。「梨ふ愛す」ができるまで、そして今は販売会などで、町内会をはじめたくさんの方々と関わり、温かい応援をいただいている。まちの皆さんに、心からの感謝を伝えたい」とのメッセージをいただきました。

※1：総務省の地域おこし協力隊制度を活用し、利府町の賑わい創出を図るプロジェクト。当初5つのグループがあり、当プロジェクトもそのひとつ。
※2：ターゲットとなる顧客の具体的な人物像を設定するマーケティング手法。当プロジェクトでは、料理関係者でもある地元のインフルエンサーを招き、本格的な商品開発のプロセスを学んだ。

りふ梨を使ったりふのアイス

その名も **梨ふ愛す**

2025年3月販売開始

第1弾
梨きなこ味 & 梨ベリー味



約1年をかけて開発した、利府梨の魅力を最大限に引き出したパフェアイスです。

2026年7月販売開始

第2弾
梨ハニー味



利府梨と利府町産のはちみつを使用したアイスです。



利府高校自然科学部の生徒が
開発をしたアイスです。
プレゼントや自分へのご褒美にどうぞ。

販売場所など
詳しくはこちら

